

みんなのひろば

10月4日(土)5日(日)10時~15時
東部区民活動センター



屋台(バザー、やきそば、餅……)
にぎわい広場

娘…お母さん、掲示板に東部まつりのポスターが貼ってあったよ。
 母…あら、もうそんな時期? 秋なのねえ。
 娘…去年行ったら、知ってるおじさんやおばさんが、お店をやってたよね。
 母…そうよ。地域に住んでいる人たちが楽しいおまつりになるように協力して計画しているのよ。東部区民活動センターの前庭にはお店が出ているし、中に入ると踊りや歌の発表や、カレーが美味しいレストランや、作品展もあるし、最後は景品のかかった大じゃんけん大会もあって、すごく楽しいのよ。
 娘…今年も落語家さんがきたり、プロのバイオリンも聴けるらしいよ。お父さんも誘って遊びに行こうよ。楽しみだなあ。



書道、絵画、手芸、工芸など。
展示の広場



お茶席、ハンドマッサージなど。
いこいの広場



大じゃんけん大会 5日15時~



カレー、みつめめ。
11時開店。
レストラン「アカシア」

オープニング
4日11時~
十中・和太鼓部

運営委員会事務局に詳しいプログラムを用意しています。



東部まつり



ふれあい広場
4日 バイオリン「白井崇陽」、幼児向けイベントなど。
5日 落語「春風亭正太郎」など。



はなみずき

発行
東部区民活動センター
運営委員会
〒164-0011
中野区中央 2-18-21
TEL 3363-0631
FAX 3363-0632

2014.9.15 第14号



息子…町会のおじさんから、東部の運動会でリレーに出てくれないか、って言われたよ。
 母…あら、それはがんばらないとね。東部の運動会は、パン食い競争や、カレーの材料をゲットする「今夜はカレー?」レースがあって、和気あいあい楽しめるのよ。だけど、玉入れや大縄跳びやリレーは町会対抗で競い合うから、普段は協力し合う地域だけど、この時ばかりは対抗意識を燃やすみたいよ。
 息子…友だちの〇〇君も、リレーに出るって言ったよ。
 母…負けたくないわね。お隣に引っ越してきた人、陸上部の出身って聞いたわ。お誘いしてみよう。あら、お母さんも対抗意識が燃え上がってきちゃったわ。応援に行くから、がんばってね。

10月19日(日) 9時~15時
雨天中止 十中校庭 **運動会**

コラム
なかま



TBSアナウンサー 土井敏之
本三西町会

自分たちの街

サッカーワールドカップ日本代表の選手達が、大会中よく使った言葉は「自分たちのサッカーをすれば勝てる」というものでした。自分たちで主導権を握って攻めることを目指したものの…相手の良さを消すのが「世界」です。発言は「自分たちのサッカーをさせてもらえなかった」に変わりました。

実況を通してサッカーに関わってきた者として、一番悔しいのは選手と理解しつつも「自分たちのサッカー」がお題目になっていたのが残念でなりません。掲げればすぐに出来る標語ではない。それは、真剣勝負を全力でやり切った上で、身体能力や精神などの国民性と相まって、時間をかけて築いていくものです。

私はこの街に生まれ育ちました。空き地は消え、小学校は廃校に、中野坂上の交差点には3つの高層ビル、と風景は変われど、雰囲気や風土は昔のまま。懸命に全力で生きてきた人たちが長い時間をかけて作った「自分たちの街」だから変わらないのだと思うのです。

●プロフィール
1970年生まれ 仲町小学校、第十中学校、都立西高、早稲田大学法学部卒業。

東部の〇〇 第13回

静けさを守る名建築 実践学園 自由学習館



宮前公園の西隣。つんと尖んがって空を見上げ、いまにも離陸しそうな建物があります。

生徒の自学自習の場として、2011年に完成した実践学園の「自由学習館」です。マンション計画が頓挫した空き地を実践学園が取得。「学びの館」とする方針を住民に説明した頃は、「生徒の声でうるさくなる」など反対を受けましたが、できてからは苦情はないそうです。

中に入ると、コンクリート打ちっぱなしの高い壁、不定形の窓、どこも平らではない天井。階段沿いに、ひな壇のように勉強机が並びます。机、椅子、参考書の並ぶ本棚、すべて木製。斬新なのに落ち着く、ただも

のではない空間。

そのはず。この建物は2013年の日本建築家協会による建築大賞を受けたのです。「復原・東京丸の内駅舎」や「東京スカイツリータウン」を押さえての受賞です。斬新な設計に加え、「生徒の自発性を促す」自由学習に大きな可能性を感じる。生徒が休日にも開館を希望し、学校がそれに応える姿もすばらしいとされました。設計者のひとりの古谷誠章・早大教授は「自主勉強の場」というコンセプトに共感し、新しい勉強空間を生み出すことに腐心されたそうです。

学校側はあくまで「大賞をとるための建築ではなく、学習の場です」とのコメント。試験期には150人超、夏休みでも毎日数十人の生徒が黙々と勉強するそうです。ノートから目を上げると公園の緑。「よく手入れされた公園で、小さな子どもやお母さんたちの姿が見られます。生徒たちに安心して見せられる公園があつてありがたい」。その対価に、学校は静かな環境を守ろうと、建築大賞以後ひっきりなしの見学希望も断り、躍動を秘めた建物の沈黙を守っています。

第36回東部演芸大会

入場無料

日時 ● 9月27日(土) 10時~15時

場所 ● 塔山小学校体育館

主催 ● 東部地区友愛クラブ連合会 東部地区の友愛クラブ7団体のほか、かわいい子どもたちも出演します。また実践学園高等学校合唱部や中野坂上ウインドオーケスト



ラの演奏も予定しています。お気軽に足をお運びください。

講演会報告

災害時 子どもに生き抜く力を!



講師 株式会社リスクウォッチ代表 長谷川祐子氏

7月11日、防災意識を学ぶ講習会が東部区民活動センターで開かれました。講師は米海軍消防隊に22年間勤務した経歴をもつ長谷川祐子氏。日米の防災意識の差を痛感した講師から、アメリカ式の実践的な救助方法や逃げ方などを実際の道具を使って学びました。「大災害時は救急車、消防車が来ない事もあります。知識があれば何か出来るしパニックにならない」「火事や地震の時、一人でいたとしても生き残れる子ども、生き抜く知恵を持った子どもを育てよう」という役に立ち、迫力ある講義でした。いくつかご紹介します。

1 煙

煙は火が小さくても大量に噴き出し、高いところに昇ります。少しでも煙を吸い込むと体の空気を奪い、頭がガンガンするので絶対に吸わないこと。身を低くして逃げないと煙にまかれます。

2 火事の部屋

煙対策として寝室のドアは閉めて寝ること。逃げる時ドアノブが熱くなっていないか手の甲で確認します。熱ければ向こう側は炎上しているの、窓からシーツを振り助けを呼ぶか、ドアに目張りをして煙を防ぎ、規則的な音を立てて(規則的な音は人間しか出せません)助けを待ちます。

3 震災時の救助

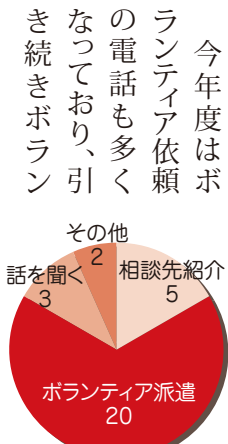
建物の中に入るときは4人1組で。2人は建物の中に、2人は外で状況のチェックをします。二次災害を防ぐためです。中に入る2人は右手を壁に、左手で懐中電灯を持ち壁伝いに進みます。けが人を発見したら懐中電灯は壁に向けて灯りを点けたままに残していきます。けが人が歩けない場合は担架に乗せたり、椅子などに座らせて救助します。



あいあいステーション 1周年

「東部あいあいステーション」の活動も皆様のお力添えがあつて1周年を迎えました。この紙面をお借りして、昨年度の報告をいたします。

活動日数は216日、電話あるいは来所での相談受付は30件でした。対応の内訳はグラブの通りです。ボランティアが出向いての作業は、蛍光灯交換が6件、家具の移動・粗大ごみ運びなどの力仕事は5件、買い物2件などとなっております。ご近所という利点を活かして素早く対応でき、大変喜ばれました。



平成25年度相談受付内訳

区民と区長の対話集会

日時 ● 11月18日(火) 14時~16時

会場 ● 東部区民活動センター 3階洋室3・4号

テーマ ● 10年後の中野のまちの姿について(サブテーマ「良質な教育の確保」)。申し込みは、不要ですので、ぜひご参加ください。手話通訳・一時保育 ● ご希望される方は、11月11日(火)までに、政策室企画担当にお申し込みください。

TEL 32228-8987 Fax 32228-5476

編集後記

SNSが大はやりだそうです。パソコンやスマートフォンなどで、自分の意見を世界中に発信、そして世界中の人たちからの声を受ける。そうやって世界とつながる仕組みだそうです。それはそれで素晴らしいことだけど、人とのつながりは、そんなに広く、多くなくてもいいのじゃないかと思っています。

年に一度顔を合わせるかどうかの十年來の友人、近年親しくしてもらっているご近所・地域の知り合い。顔や声がいっしょに浮べられる、これで十分。顔を合わせて話をすることができれば上等。お酒や食事ができれば特上。どんなに通信手段が発達しても「会わなきゃ出来ないこと」があるのだと思っています。(K・M)



H・H

集会所抽選日11月分 9月16日(火)

12月分 10月20日(月)

1月分 11月17日(月)

次号は12月発行予定です。